



# 真龍小便い

【学校の教育目標】  
 ☆心と体をきたえる子  
 ☆美しい心をもつ子  
 ☆考えて行動する子  
 ☆生き生きと学ぶ子

No.4 令和3年6月30日発行

## 確かな手ごたえ 校長 佐野 哲 哉

「教育活動のねらいを子どもの育ちにつなげる」ことを目標に、今年度は運動会の取組を進めました。昨年度の全面中止を踏まえて子どもの学びを保障するために、どんな内容や実施方法ならば実現できるのか、そして一番大切な「運動会のねらい」を子どもの成長につなげられるのか、先生方と協議し知恵をしばりました。予定していた6月19日（土）は、コロナ感染拡大に伴う緊急事態宣言の延長下にあり、保護者席の密を回避することが難しいこともあってやむを得ず運動会中止の判断をいたしました。例年の形の運動会は実現できませんでしたが、運動会の取組を通して育む“最後まで力を尽くす姿”“仲間と力を合わせて協力する姿”“自分の役割を果たす姿”の実現を目指し、3週間にわたる練習と3回の実行委員会（4～6年生）、そして「体育発表会児童公開日6/16」「体育発表参観日6/21～28」を実施しました。6/16日の児童公開では各学年1種目ずつの競技を行い、互いの学年が「見合う」「応援し合う」「学び合う」ことを大切にして取組を進めました。また、4・5・6年の児童は運動会実行委員として6つの係・応援団に所属して係活動・応援団活動に取り組み、高学年として学校行事の運営進行に力を尽くしました。中でも6年生は各係や応援団の中心となって、自ら進んで活動することを通して下級生のやる気を高めて係の活動をリードしていました。行動で示す6年生の姿に、最上級生としての覚悟と責任を実感した児童公開の取組でした。

6月21日（月）の1年生からスタートした体育発表参観日では、それぞれの学年毎に徒競走と団体競技を組み合わせて内容を構成し、これまで練習に取り組んできた成果を保護者の皆さんに見ていただきました。徒競走で最後まで全力で走る姿、団体競技で自分の役割を果たしながら友達と協力してがんばる姿、仲間を応援する姿など、どの学年の取組にも今年のスローガン『全力・協力・努力 最後まで頑張りよう！』を実感することができました。例年の運動会と比べて規模は小さいですが、競技に臨む子ども一人一人の心意気はかわらず、活躍の機会（種目）は例年以上に準備されていて、子どもたちのいい声、いい動き、いい笑顔が輝いた体育発表参観日でした。限られた時間の中で練習に一生懸命取り組み、着実に成果を積み上げた子どもたちの成長とそれを支えた先生方の熱心な指導。一人一人の子どもに見られた「全力を尽くす姿」「やり遂げる姿」「仲間と協力する姿」は取組を通して身に付けた子どもの力です。また、これらの経験や仲間との関わりを通して自己肯定感や自己有用感も育まれています。児童公開日の係活動で見せた4・5・6年生の高学年としての自覚や責任と下級生を思う気持ち。低学年児童の高学年に対する憧れや感謝の気持ち。取組を通してどの子もたくましく成長しています。6日間にわたってお忙しい中もご参観・応援いただいた多くの保護者の皆様のご協力、ご支援に感謝申し上げます。取組を通して培った力をこれからの学習や生活に生かしつつ、さらに高めていけるよう教職員一丸となって教育活動の質の向上に努めてまいります。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

| 日  | 曜 | 7月の主な行事   |
|----|---|---|
| 1  | 木 | 2年生社会見学（村田公園）配本日読書週間（～14日）体カテスト:シャトルラン(4～6年)        |
| 2  | 金 | 体カテスト:シャトルラン(1～3年)                                  |
| 3  | 土 |   |
| 4  | 日 |   |
| 5  | 月 | 学校評価☆切 町研7月大会(真龍小) チャレンジテスト週間 講話朝会 運動週間 真小学びの約束振り返り |
| 6  | 火 | 短縮日課 避難訓練   |
| 7  | 水 | 短縮日課 委員会⑤   |
| 8  | 木 | 修学旅行1日目 中休み読み聞かせ(3年)読み聞かせ(1月, 3月, 4雪, 5月)           |
| 9  | 金 | 修学旅行2日目 読み聞かせ(2雪, 5月)                               |
| 10 | 土 |   |
| 11 | 日 |   |
| 12 | 月 | 大掃除週間(～15日)   |
| 13 | 火 | 短縮日課 地引網体験(3年)                                      |
| 14 | 水 | 短縮日課 放課後学習 教育委員訪問                                   |
| 15 | 木 | 3・5年知能検査結果配付  |
| 16 | 金 | 遠足  |
| 17 | 土 |   |
| 18 | 日 |   |
| 19 | 月 | がん教育(6年)4年生社会見学(厚岸浄水場)                              |
| 20 | 火 | 短縮日課 クラブ① 避難訓練予備日                                   |
| 21 | 水 | 通常日課 前期第1ステージ終了講話朝会 交通安全指導日                         |
| 22 | 木 | 海の日 夏季休業開始(～8月17日)                                  |
| 23 | 金 | スポーツの日 オリンピック開会式                                    |
| 24 | 土 |   |
| 25 | 日 |   |
| 26 | 月 | ステップアップ教室①(1日のみ)                                    |
| 27 | 火 |   |
| 28 | 水 |   |
| 29 | 木 |   |
| 30 | 金 |   |
| 31 | 土 |   |

### 「ながら見守り」のお願い

児童の下校時刻に合わせて家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

# 体育発表参観日が行われました

6月21日から6日間体育発表参観日が行われました。また、6月16日(水)には、児童公開が行われました。今年度は、新型コロナ緊急事態宣言の延長を受け、6月19日(土)に予定していた運動会を中止し、学年ごと実施する形式の体育発表参観日を実施することとしました。

体育発表参観日では、各学年が趣向を凝らし、開会の言葉を入れたり、種目数を増やしたりするなど、子どもたちの活躍の場を増やしていました。それにこたえるかのように、子どもたち一人ひとりが、力の限り頑張る様子が見られました。たくさんの観客に見守られながら、運動会を学校全体で行えなかったことはとても残念ですが、子どもたちにとっては別の形で思い出に残る体育発表参観日になったのではないかと思います。

今回の体育発表運動会は、1度も雨天順延することがなく、無事に終わることができました。子どもたちの普段の頑張りが伝わった結果でしょうか。



## いじめアンケートの結果から

5月にいじめアンケートを行いました。今年度も「あなたは、嫌な思いをしたことがありますか」という質問する形で行われました。このアンケートの結果、

「4月から嫌な思いをしたことがある」→41人(昨年同時期68人)  
また、その内訳は、

|   |    |
|---|----|
| 冷やかしゃからかい、悪口をいわれる                       | 15 |
| 仲間はずれや無視をされる                            | 11 |
| 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする               | 6  |
| ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする               | 6  |
| お金や持ち物をかくされたり、いたずらされたりする                | 4  |
| 恥ずかしいことや危険なことをされたり、させられたりする             | 1  |
| メールや無料通話アプリ(SNS等)で悪口を書かれたり、仲間はずれにされたりする | 2  |

という実態でした。このアンケートをもとに、担任が全ての子どもと個別の面談を行い、「どんな嫌な思いをしたのか」聞き取りを行い、それぞれ対応しています。更に校内いじめ防止対策委員会で、個々のケースを取り上げ、解決に向けた取り組みを明らかにしました。早期解決に向けて、担任が「嫌な思いをした子」と「嫌な思いをさせた子」の話に耳を傾け、継続的に目を配り、きめ細かく様子を見ています。一方で、このアンケートは「はい」と答えた子は、学級の中での居づらさの表れという視点で見ることでもあります。

いずれにしても、学校では、子どもから発せられる様々なサインを見逃すことなく、子どもたちと過ごしていくこととなります。そのためにも、家庭との連携は不可欠です。今後もご家庭ときめ細かく連絡・相談させていただき、子どもたちの安心と安全を確保していきたいと思っておりますので、ご協力お願い致します。

## コロナ禍の対応について

6月20日(日)に緊急事態宣言が解除となり、学校では通常の教育活動を行うことができるようになりました。しかし、ソーシャルディスタンスを保ちながら、換気を十分に行うことや、朝の検温や手洗いうがいを丁寧に行うこと、給食時間は黙食など、未だ元通りとは程遠い中での教育活動となっています。

ご家庭でも、お子さんの健康管理へのご協力をお願いします。

## 学校評価へのご協力をお願いします

今年度前期分の学校評価を実施します。児童一人につき一つのアンケートを実施しておりますので、同じ項目を複数回評価するご家庭もあり、ご面倒をおかけしております。このアンケートを学校改善につなげていければと考えています。

## 体力テストを実施しています

28日(月)から、体力テストを行っています。「50m走・ソフトボール投げ・上体起こし・長座体前屈・立ち幅跳び・反復横跳び・握力・シャトルラン」の計8種目の計測を行うこととなります。

体力テストの集計結果が出たら、真龍小の子ども達の体力の傾向についてお知らせする予定です。

## 真龍小学校便り おすすめ本(R3.7月号)

『おこだでませんように』

くすのき しげのり/作 石井聖岳/絵 (小学館)  
学校司書 小島郁子

この男の子の表情を見てください。目には涙をためて口を引き結び、何かを必死でこらえています。

ぼくは いつも おこられる。

いえでも がっこうでも おこられる。

せっかく しょうがっこうに にゅうがくしたのに。

せっかく 1ねんせいになったのに。

文中のぼくの気持ちです。

どうしたら怒られないようになるのか。

考えたぼくは、クラスみんなで書くことになった七夏の短冊にお願いすることにしました。

「おこだでませんように」

それを見た先生は泣きました。

先生からそのことを聞いたおかあちゃんは、

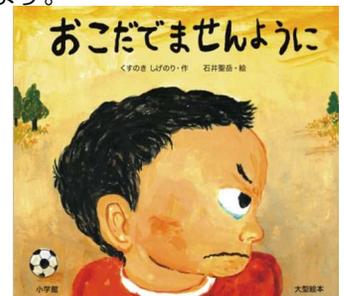
「ごめんね、おかあちゃんも おこってばかりやったね」と言い、ぎゅうっと抱きしめてくれました。

忙しさに追われて、素直なまなざしで我が子を見られなくなる経験、私もあります。

“子どもたちの心の中にある祈りのような思いに気づくことができますように”

作者のくすのきさんの言葉です。

いろんなことを気づかせてくれる絵本です。



学校図書館、厚岸情報館に所蔵があります